
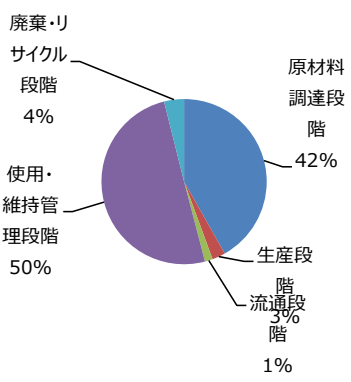


カーボンフットプリント 登録情報



1. 製品情報			
1.1	登録番号	CR-DG02-18055	1.7 製品写真 
1.2	登録名称 (日本語)	Canon imageRUNNER ADVANCE C7570 III	
	登録名称 (英語)	Canon imageRUNNER ADVANCE C7570 III	
1.3	製品型式	Canon imageRUNNER ADVANCE C7570 III	
1.4	製品の主要仕様・諸元	オフィス向けデジタル複合機 モノクロ70枚/分、カラー65枚/分 (A4) 689mm (幅) × 941mm (奥行) × 1220mm (高さ) 製品質量: 約272kg	
1.5	CFP算定単位	製品1台あたり	
1.6	公開日	2019/2/15	

2. 事業者情報		
2.1	事業者名 (日本語)	キヤノン株式会社
	事業者名 (英語)	Canon Inc.
2.2	電話番号	03-3758-2111 (代表)

3. CFP算定結果およびCFP宣言の内容			
3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	3,600	kg-CO ₂ e (端数処理により左記の値は内訳の合計値と若干異なる場合があります)
3.2	内訳 (ライフサイクル段階別、プロセス別、フロー別、等)		
	原材料調達段階	1,500	kg-CO ₂ e
	生産段階	93	kg-CO ₂ e
	流通段階	55	kg-CO ₂ e
	使用・維持管理段階	1,800	kg-CO ₂ e
	廃棄・リサイクル段階	140	kg-CO ₂ e
3.3	数値表示、追加情報の内容		
	数値表示	<記載内容> 3,600 kg	<数値表示の単位> 製品1台あたり
	追加情報の記載内容	<p>●CFP算定結果には用紙の負荷は含まれていません。</p> <p>●使用・維持管理段階の負荷算定において、使用条件は複合機(EP方式)標準シナリオを用いて計算しました。</p> <p>●この製品の仕向け先は日本で、想定印刷枚数(2,918,400枚)を印刷したとして計算しています。</p> 	
3.4	備考	—	

4. CFP算定結果の解釈	
4.1	CFP算定結果の解釈 <p>・使用・維持管理段階におけるCO₂排出量が50%と最も多くなりました。CO₂排出量削減のためには、製品使用時の省エネ性能向上や消耗品の長寿命化が重要な要素だと言えます。但し、使用・維持管理段階は代表的な使用条件を設定して評価しているため、お客様の使用条件によっては結果が異なる場合があります。</p> <p>印刷モードや印刷条件、枚数などの使用条件の設定により、使用・維持管理段階のCO₂排出量を削減できる可能性があります。</p> <p>・原材料調達段階におけるCO₂排出量が42%と使用・維持管理段階の次に多くなりました。CO₂排出量削減のためには、製品の小型軽量化や低環境負荷材料の使用が重要な要素だと言えます。</p> <p>CFP算定にあたり、原料の使用量は当社データを利用していますが、数千点におよぶ部品のデータを収集することは困難なため、原料製造時のデータは一般的な値を利用しています。そのため、当製品固有の特徴を反映していない場合があります。</p> <p>上記の理由より、この結果は概算値としてご理解ください。</p>

5. 算定条件					
5.1	認定CFP-PCR名称	画像入出力機器	5.2	認定CFP-PCR番号	PA-DG-02
5.3	利用した二次データの考え方	基本データベースv.1.01を優先的に利用しました。基本データベースv.1.01に原単位がないものは、利用可能データv.1.04のうち信頼性が高いと判断したものを利用しました。			

6. 検証情報					
6.1	検証方式	システム認証方式	6.2	システム認証番号	SCN14002
6.3	検証番号	CV-DG02-18055	6.4	検証合格日	2019/2/4

7. プログラム情報					
7.1	プログラム名	カーボンフットプリント コミュニケーションプログラム	7.2	プログラムウェブサイト	http://www.cfp-japan.jp
7.3	プログラム運営者	一般社団法人産業環境管理協会	7.4	プログラム運営者住所	東京都千代田区鍛冶町2-2-1

8	備考	—
---	----	---

(※) 二次データについては、CFPウェブサイト下記ページ参照のこと。
<http://www.cfp-japan.jp/calculate/verify/data.html>